
第4回
少額から始める資産運用
～始める前に知っておくべきこと～

経済活動と金融の関係



預金や投資したお金は
経済活動に使われる

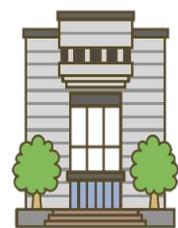


家計

利子・配当

債券・株式

投資



証券会社
など

国債



利子

政府

企業



設備投資
商品・サービスの提供
株主への配当
従業員への給与

公共サービスの
充実

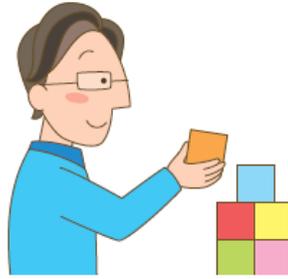
私たちの生活が
より豊かで便利に

預貯金と投資



金融資産の運用には、「預貯金」と「投資」がある

預貯金



- 貯めることを重視
- 元本保証など確実性を重視
- 運用成果（結果）は商品選択時に決まっている

投資



- ふやすことを重視
- 元本保証はない
- 運用成果（結果）は期待できるが、予測できない

主な金融商品

普通預金

定期預金

積立定期預金

債券
(国債・地方債など)

株式

投資信託

3つの観点

金融商品の特徴は、3つの観点からとらえる



安全性

元本(元手)や利子の
支払いが確実か

収益性

期待できる
収益の大きさか

流動性

必要なときにすぐに
換金できるか

金融商品の比較例



		安全性		収益性		流動性
普通預金	収益性は高くはないが 安全性、流動性は高い	◎	■	△	■	◎
国内株式	安全性は低くても大きな 収益性が期待できる	△	■	◎	■	○
国内債券	収益性も少しありつつ 安全性も高い	○	■	○	■	△

3つとも ◎の金融商品はない

* 金融機関が破綻した場合 *

- 普通預金は**預金保険制度**により元本1,000万円（1金融機関ごとに預金者1人当たり）までとその利息等が保護
- 株式・債券は**分別管理**と投資者保護基金による補償の二重の制度によって保護



**「リスク」という言葉の意味は、
「危ない」という意味だと思いませんか？**

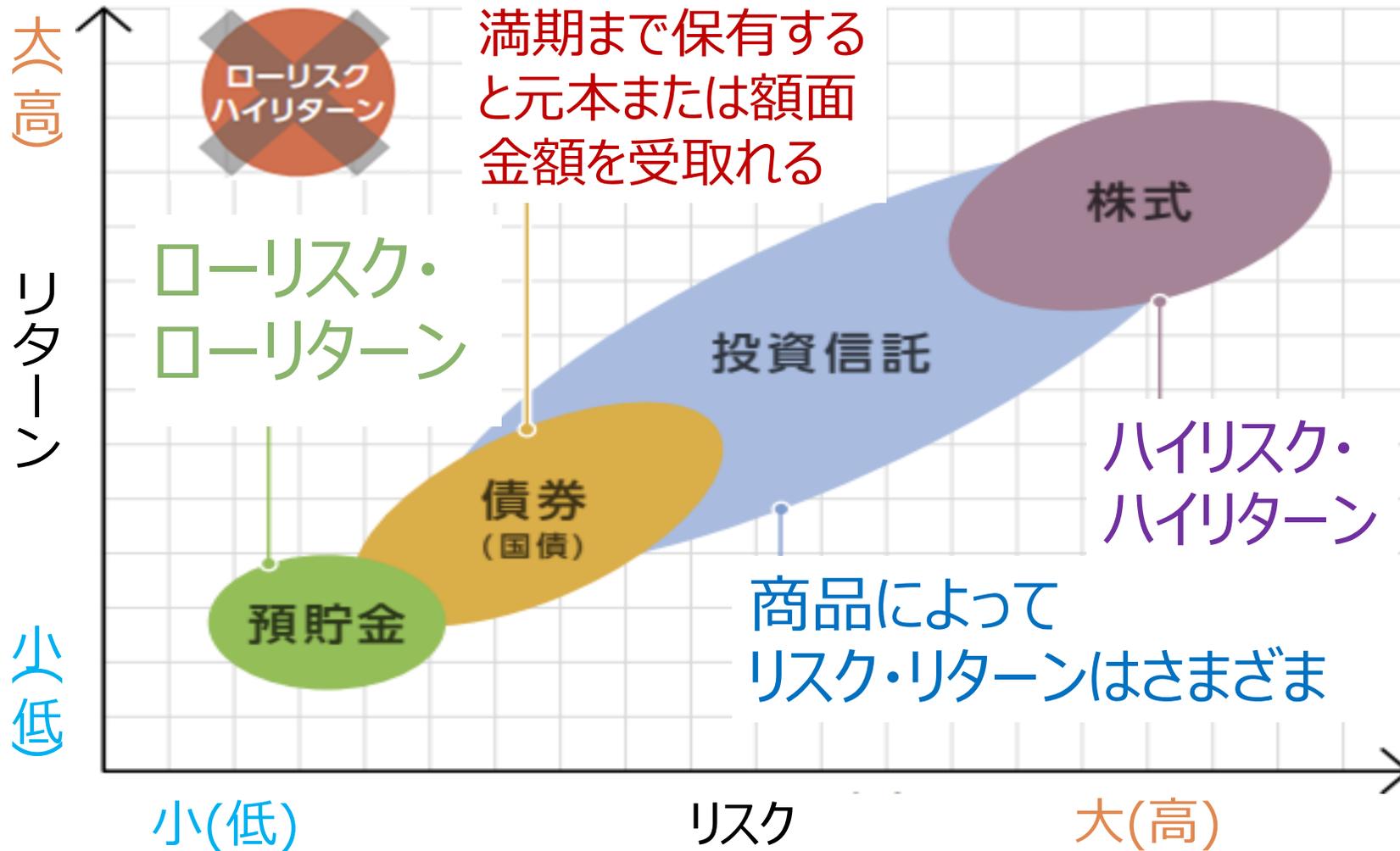
金融や投資の世界の「リターン」と「リスク」

- **金融商品の「リターン」とは、「資産運用を行うことで得られる成果、収益・利益」のこと**
- **金融や投資の世界の「リスク」とは、「リターンの振れ幅」のこと**

「リスク」と「リターン」の関係

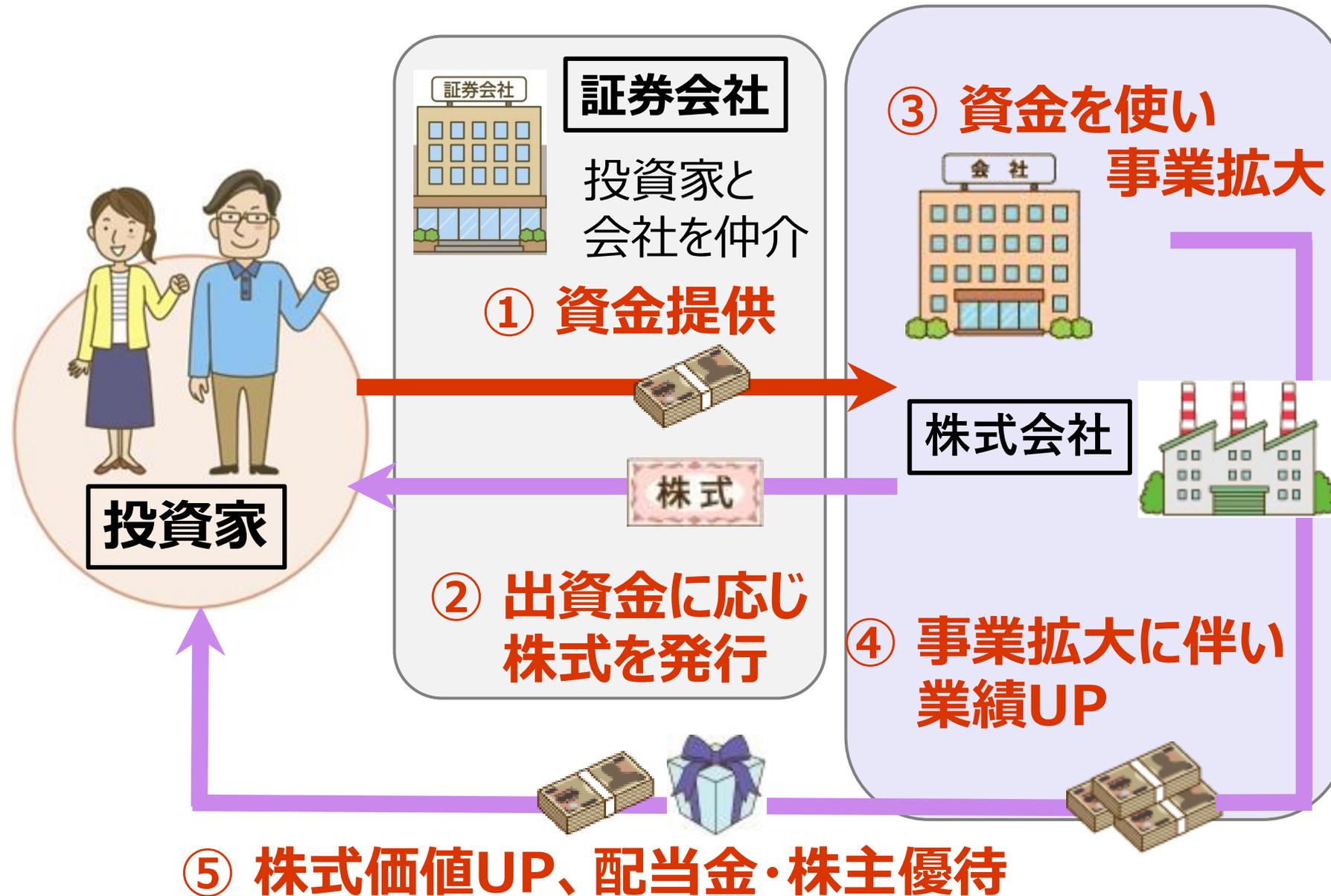


「ローリスク・ハイリターン」の金融商品はない



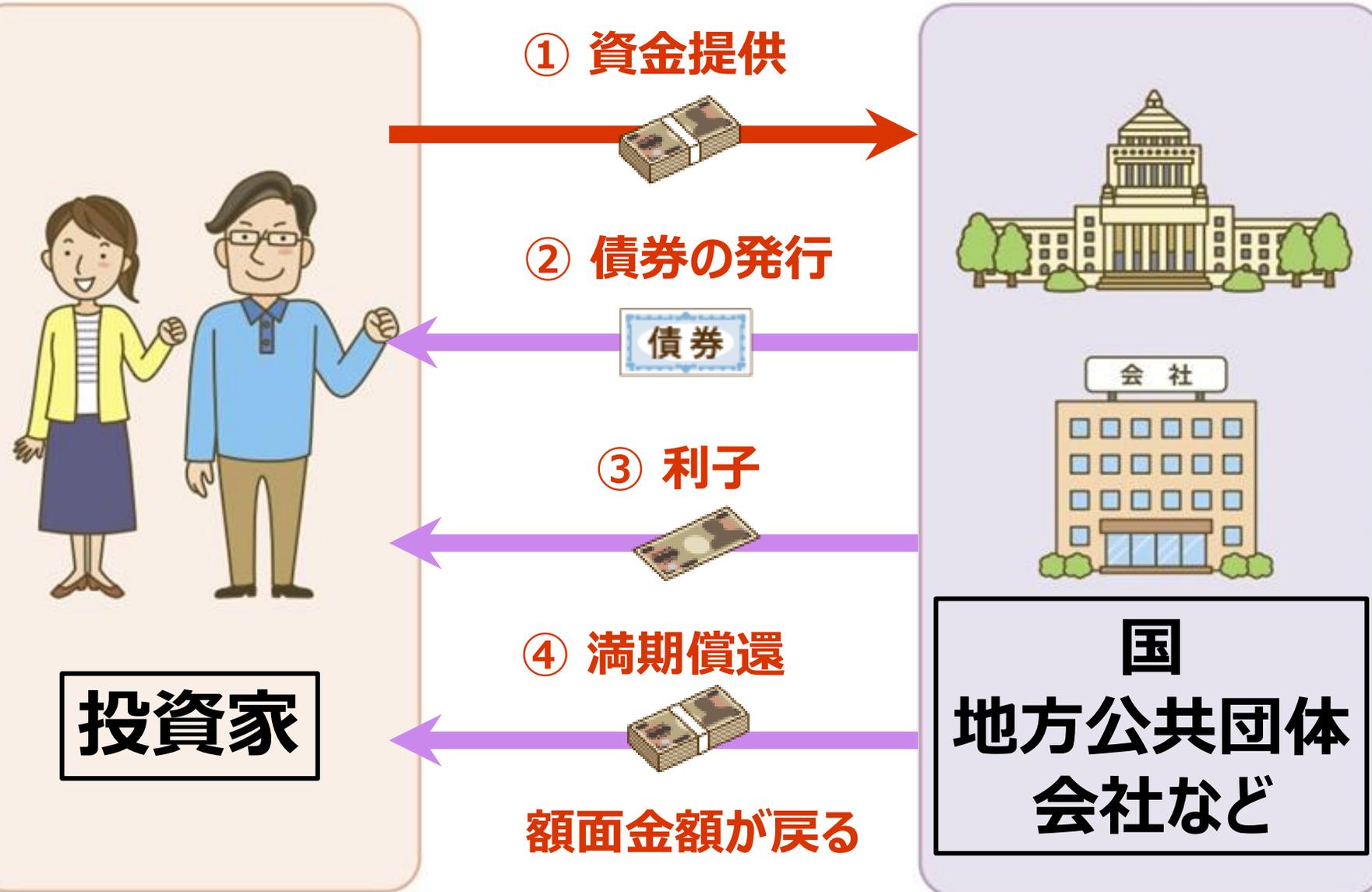
※これは一般的なイメージ図であり、すべての金融商品があてはまるものではありません。

株式の仕組み



⑤ 株式価値UP、配当金・株主優待

債券の仕組み



投資家

国
地方公共団体
会社など

投資信託とは？

株式や債券などを組み合わせたパッケージ商品



パッケージ商品なので、
分散投資でリスクを軽減



専門家に運用はお任せ



少額で投資可能
積立投資なら、500円や1,000円程度
からの場合も。



投資信託のイメージ



少額投資

専門家が運用
(運用会社)

様々な
投資対象に
分散投資

資金をまとめる

投資信託
(ファンド)

国内

海外

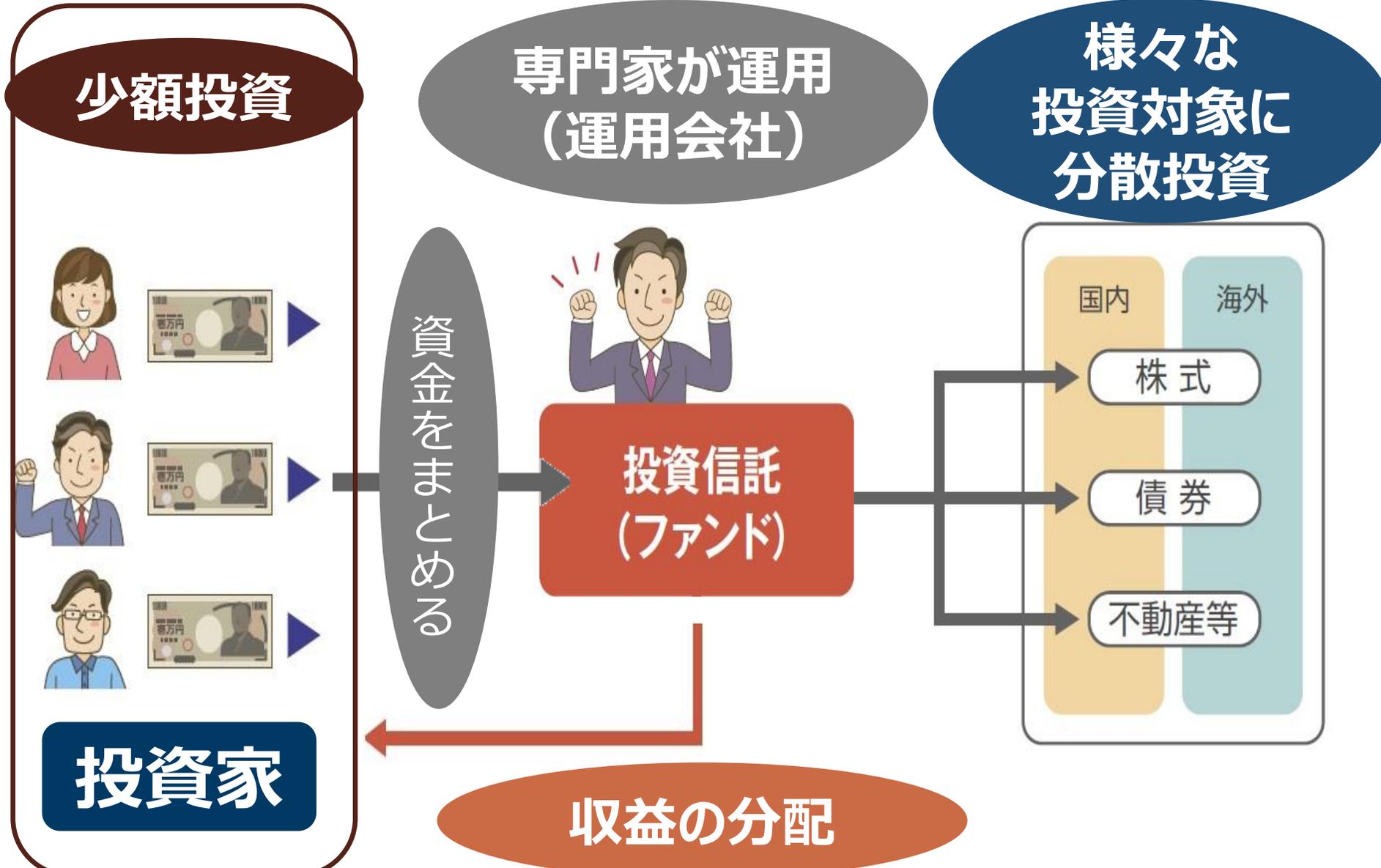
株式

債券

不動産等

投資家

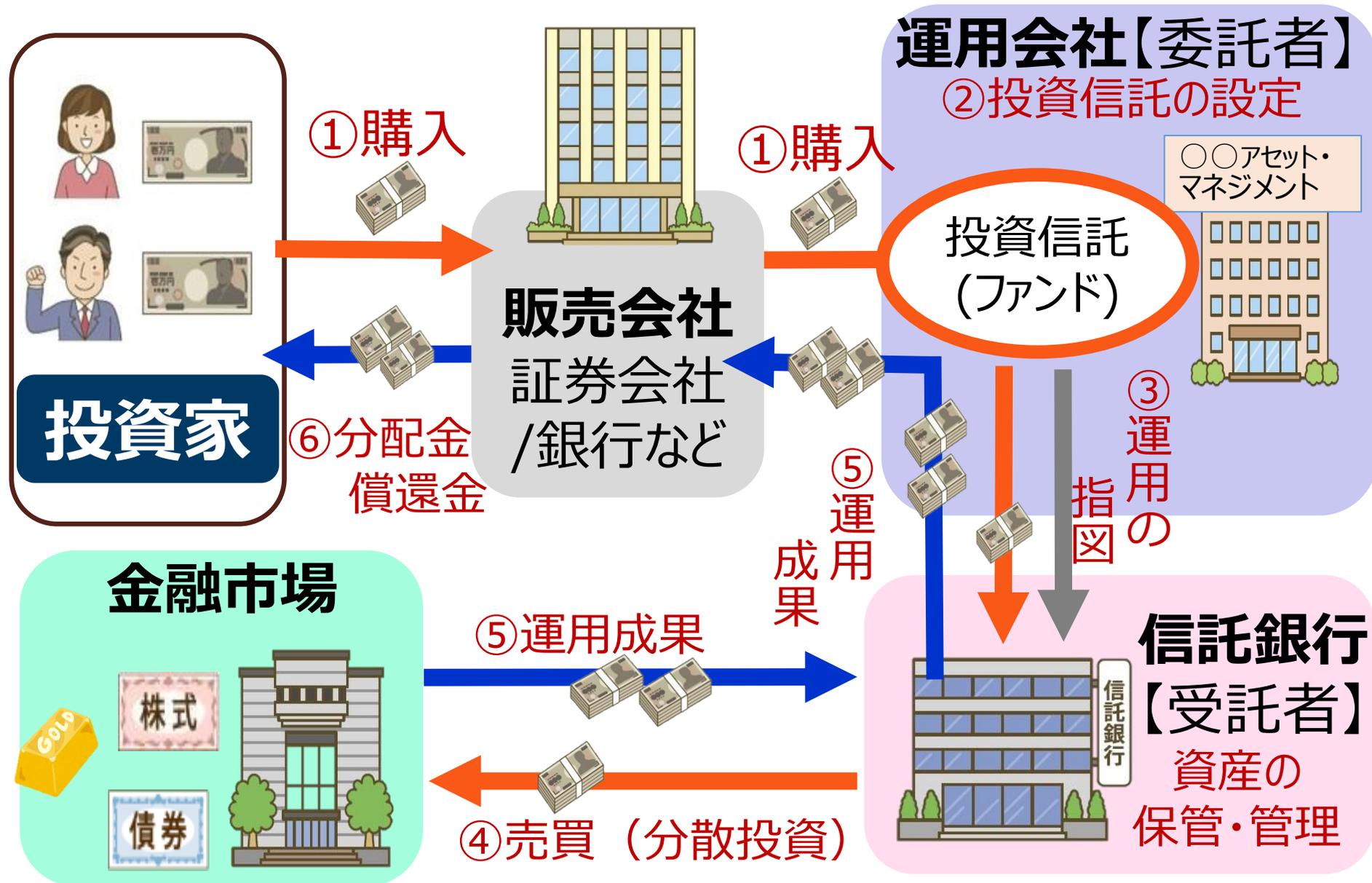
収益の分配



投資信託の仕組み



Oshima Hoken Inc.



投資信託選びのポイント



投資対象が何かを確認

投資地域	国内	海外
債券	国内債券	海外債券
株式	国内株式	海外株式
不動産	国内REIT	海外REIT
その他(金など)	コモディティ(商品) など	

投資対象

バランス型

購入前のチェック事項

投資信託説明書（交付目論見書）でチェック！

重要情報の確認



※ 主なコスト・・・購入時手数料、運用管理費用（信託報酬）
信託財産留保額（解約時の費用）、税金など

ポイント

理解できないものには投資しない

トータルリターンの通知制度

購入した投信の損益の全体を把握



まとめ（資産運用）



- ✓ **金融資産の運用の手段には貯めることを重視する預貯金とふやすことを重視する投資がある**
- ✓ **金融は経済成長や生活を豊かにするには欠かせないもの**
- ✓ **投資のための商品には株式、債券とそれをパッケージにした投資信託がある**
- ✓ **ローリスク・ハイリターンの金融商品は存在しない**